

交通事故リスク軽減チェックシート

～これで、あなたも交通事故に遭わない、起こさない～

歩行者、自転車用

《問1》 全般

自分は、交通事故を起こさない（遭わない）と思いますか。

- ア はい
- イ いいえ
- ウ 分からない

《問2》 歩行者

車道を横断します。左から自動車が来ています。

- ア 自動車が通り過ぎてから横断する
- イ 自動車が通り過ぎる前に横断する
- ウ 自動車の進行具合を見て考える

《問3》 歩行者

夜間外に出ます。服は何色？

- ア 暗い色の服を着る
- イ 明るい色の服を着る
- ウ 明るい色の服に、反射材を付ける
- エ 特に気をかけない

《問4》 自転車

雨の日、自転車に乗ります。

- ア 傘をさす
- イ カップを着る
- ウ 何もせず、濡れながら乗る

《問5》 自転車

自転車は、基本的に道路のどこを走りますか。

- ア 道路（車道）の左端
- イ 道路（車道）の右端
- ウ 歩道の左端
- エ 歩道の車両寄り
- オ どこを走るか決めていない

回答と考え方

1. 正解 イ いいえ

交通事故を起こす（遭う）可能性は、誰にでもあります。

人は、「ミス」をする生き物です。

ヒューマンエラー（人為的ミス）は、交通事故の原因となります。

その他、速度の出し過ぎや、脇見が原因の事故も多いです。

平成 26 年中、滋賀県内では、怪我のない事故（物損事故）も含めると 5 万件以上も交通事故が発生しています。

（*平成 26 年中 滋賀県内交通事故による死者 63 人、負傷者数 8,545 人）

事故の発生件数から、50 年間運転した場合、2～3 人に 1 人は、交通事故（人傷事故）を起こす計算になります。

2. 正解 ア 自動車が通り過ぎてから横断する

歩行者が、被害に遭う交通事故の半数以上は、「道路横断中」です。

平成 26 年中の滋賀県内で、歩行中に死傷した人は 549 人で、その内 295 人が道路横断中でした。

自動車が、止まってくれるだろうという考えを持たず、「自分の身は自分で守る」という気持ちが大切です。

3. 正解 ウ 明るい色の服に反射材をつける

自動車のライト下向きの時、暗い色の服では、約 25 メートルしか見えませんが、明るい色の服は、約 40 メートル、反射材を付けると約 100 メートル手前から見えます。

また、自動車のライトは、地面の低いところを照らすので、足下（靴、ズボンの裾）に貼った反射材は効果的です。

4. 正解 イ カップを着る

自転車の傘さし運転、携帯電話しながらの運転は、交通違反です。（*道路交通法第 71 条第 6 号、県細則第 14 条第 4 号、公安委員会遵守事項違反）

また、片手運転となり、たいへん危険です。

自転車は、スピードがでますが、バイクのようにヘルメットをかぶらずに乗車することが多く、万一の時、重大事故に繋がる危険が高いのです。

5. 正解 ア 道路（車道）の左端

自転車は、車両なので、道路（車道）の左端を走行します。

しかし、「普通自転車の歩道通行可」の標識があれば、歩道を走ることができたり、13 歳未満の子どもや高齢者（70 歳以上）については、歩道を走ることができる等いくつかの例外はあります。（*道路交通法 63 条の 4 第 1 項、令 26 条）

また、H25 年 12 月 1 日から改正道路交通法が施行され、自転車の路側帯通行についても、道路左側に限定されています。

交通事故リスク軽減チェックシート

～これで、あなたも交通事故に遭わない、起こさない～

自動車運転者用

《問1》 全般

自分は、交通事故を起こさない（遭わない）と思いますか。

- ア はい
- イ いいえ
- ウ 分からない

《問2》

見通しの悪い一時停止規制のある交差点にさしかかりました。

- ア 停止線手前で一時停止する
- イ 停止線を越えたところで一時停止する
- ウ 停止線と停止線を越えたところで二度停止する

《問3》

前の車に追従して走行しています。

- ア 広めに車間距離をとる
- イ 狭めに車間距離をとる
- ウ 車間距離を気にしていない

《問4》

スピードを出すと早く目的地に到着すると思いますか。

- ア 早く到着する
- イ あまり変わらない
- ウ 逆に遅くなる

《問5》

運転するため車に乗りました。シートベルトは、いつしめますか。

- ア 車に乗ったら直ぐ
- イ 発進してから、動きながらしめる
- ウ しめない

回答と考え方

1. 正解 イ いいえ

交通事故を起こす（遭う）可能性は、誰でもあります。

「人は、ミスをする生き物です。」

ヒューマンエラー（人為的ミス）は、交通事故の原因となります。

その他、速度の出し過ぎや、脇見によるものなどもあります。

平成 26 年中、滋賀県内では、怪我のない事故（物損事故）も含めると **5 万件以上**も発生しています。

（*平成 26 年中 滋賀県内交通事故による死者 63 人、負傷者数 8,545 人）

また、事故の発生件数から計算すると、50 年間運転した場合、**2～3 人に 1 人は、怪我のある交通事故（人傷事故）を起こすこと**になります。

2. 正解 ウ 停止線と停止線を越えたところで二度停止する。

停止線で停止せず、停止線を越えたところで停止する人が、多いのではないのでしょうか？

この場合、交差道路から自転車などが走行して来ていた場合、停止出来ず自転車と衝突してしまいます。

また、交通事故の約 3 割は、出合頭事故です。

3. 正解 ア 広めに車間距離をとる。

交通事故で最も多く発生しているのが追突事故です。

この事故を防ぐには、まず車間距離を広めに取ることです。

事故を防止するためには、自車が、前車の位置に行くまでの**車間時間を 4 秒以上**開けることが大切です。

4. 正解 イ あまり変わらない

人は、先に急ぐ習性があります。

よって、急ぐ用事が、無くてもものろのろしていると、イライラしたりします。しかし、道路は、信号機もあれば、渋滞している場所もあり、急いでも目的地に到着する時間はあまり変わらないという実験結果がでています。

「急ぎ運転」は、「疲れる」「事故のリスクが高くなる」という点から「デメリット」ばかりです。

ちなみに、時速 60 キロメートルで壁に衝突すると、ビルの 5 階から落下したのと同じぐらいの衝撃になります。

5. 正解 ア 車に乗ったら直ぐ

シートベルトは、命綱です。平成 26 年中滋賀県内では、自動車乗車中に亡くなられた方 27 人のうち、**18 人はシートベルト非着用**でした。うちシートベルトを着用していれば **12 人の方は助かった可能性**があります。